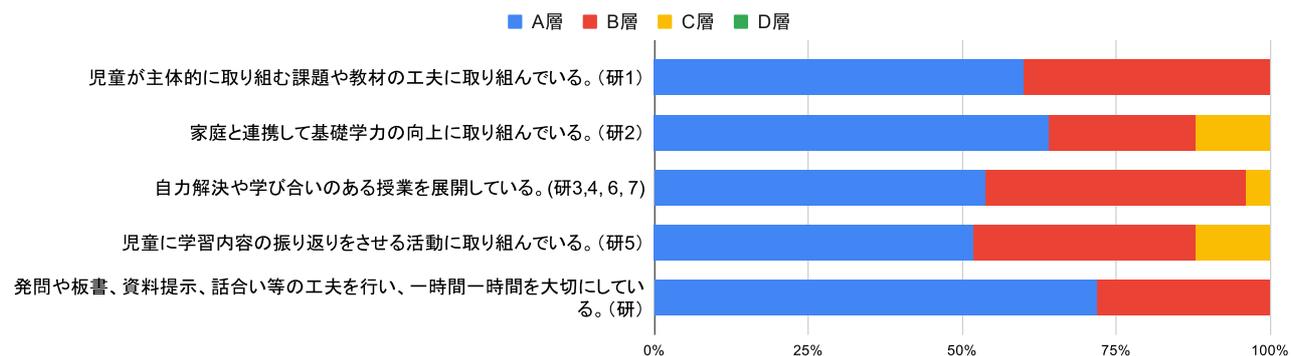


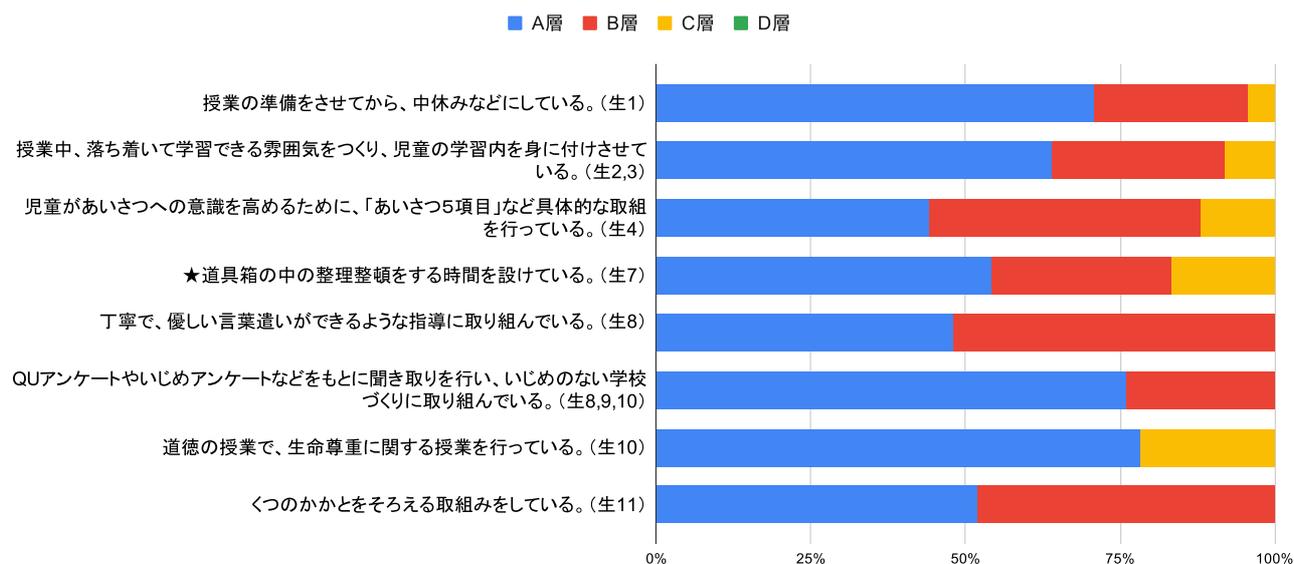
## 令和6年度 第1回学校評価アンケート(教職員アンケート)集計結果と分析

### 教職員アンケート 1 校内研究について



前年度比で肯定的回答が増加した項目は、項目1(18ポイント)、項目2(12ポイント)、項目3(2.1ポイント)であり、項目5はほぼ割合に変化がありませんでした。特に項目1と5のポイントは、C,D層の回答が見られず、どの教職員も教材研究や資料提示などの手だてを工夫していることが読み取れます。一方で、今年度の研究の主要な手だてである学び合いや振り返りの工夫については他の項目よりポイントが低く、未だ改善の途中であることが考えられます。1学期までに実施してきた研究授業と示範授業の成果や課題を再度確認し、2学期以降も学び合いや振り返りの手だての実施と改善を続けていく必要があります。

### 教職員アンケート 2 生活指導について



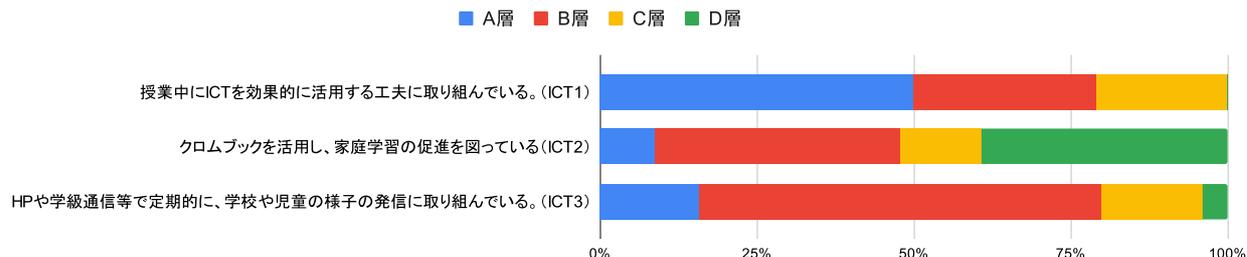
昨年度と比較し、道具箱の整頓への声掛けが増えています。しかし、身の回りの整理、授業準備、丁寧な言葉づかいについては、声掛けをしている教員側と児童の実態に乖離が見られるので、ただ声を掛け続けるだけではなく、より具体的な実践をしていく必要があります。学級会で児童が現状を捉えて、担任と児童の対話を通して新たな取組を講じていくなどの対策が挙げられます。生命尊重に関する取組については2学期に実施予定の教員がいるため、今後肯定的回答率の上昇が期待されます。否定的回答がゼロの項目については、この結果に満足せずA層の回答率をより一層上げていく必要があります。

### 教職員アンケート 3 体育



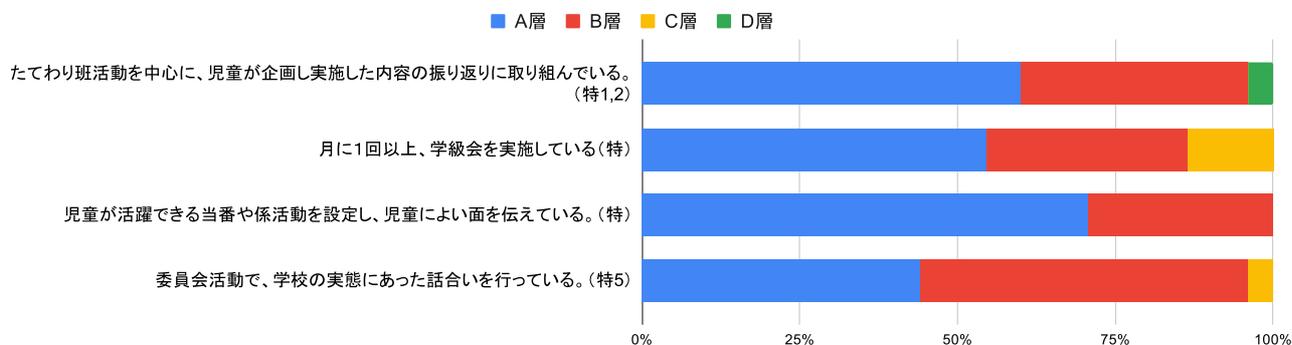
体育朝会での運動遊びの紹介は2学期に実施予定です。今後のアンケート結果にご期待ください。

### 教職員アンケート 4 ICT



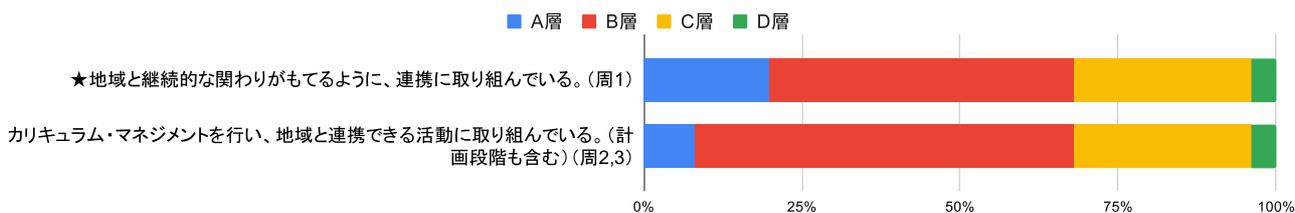
回答結果を分析すると、高頻度で ICT機器を活用した授業実践をしている高学年と、タイピングを初め技能習得に取り組んでいる低学年との間に実施状況の差があることが分かりました。OJT研修などを通して全学年で実践例を紹介し合い、授業のねらいに沿った活用をしていくことで今後の肯定的回答率を上げていきます。家庭学習の促進については「タブレット PCの持ち帰り」について検討していきます。忘れ物の対策など学級での生活指導と連携しつつ、ICTを活用した家庭学習を習慣化していきます。今年度から HPの毎月計画的に更新しておりますので、今後の本校からの発信にご期待ください。

### 教職員アンケート 5 特別活動



学級会や委員会の話し合いなど、児童の対話に関する活動のポイントが低いことが課題として挙げられました。C,D層の割合が多い背景として、効果的な学級会の進め方に不安を感じている教員もいると考えました。特別活動部として学級会グッズを配布したり、教師用PCで学級会の進行用ハンドブックを共有したりすることで、共通した指導を目指していきます。そして、今後の対話的な学びの機会を増やしていきます。

### 教職員アンケート 6 周年行事



昨年度に比べて肯定的回答が増えていることから、2年間続けてきた生活科と総合的な学習の時間の研究活動が改善に寄与していることが考えられます。C, D層の背景としては、2学期以降の地域連携活動の見直しを進めていることが考えられます。従来の生活科・総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメントに加えて、今年度は創立60周年を迎えるため、周年行事に関する地域の方々との交流活動を予定しており、地域関係者との連携の機会を増やしていくために、再度カリキュラムを見直しています。2学期に交流を予定している学年も多く、今後の肯定的回答の伸びが予想されます。